

# 認知症の現状

## — 一般高齢者 —

### (項目)

1. 認定者関連3項目の回答状況
2. 認知症リスクスコアの分布状況
3. 性別圏域別にみた認知症リスクスコア2点以上の割合

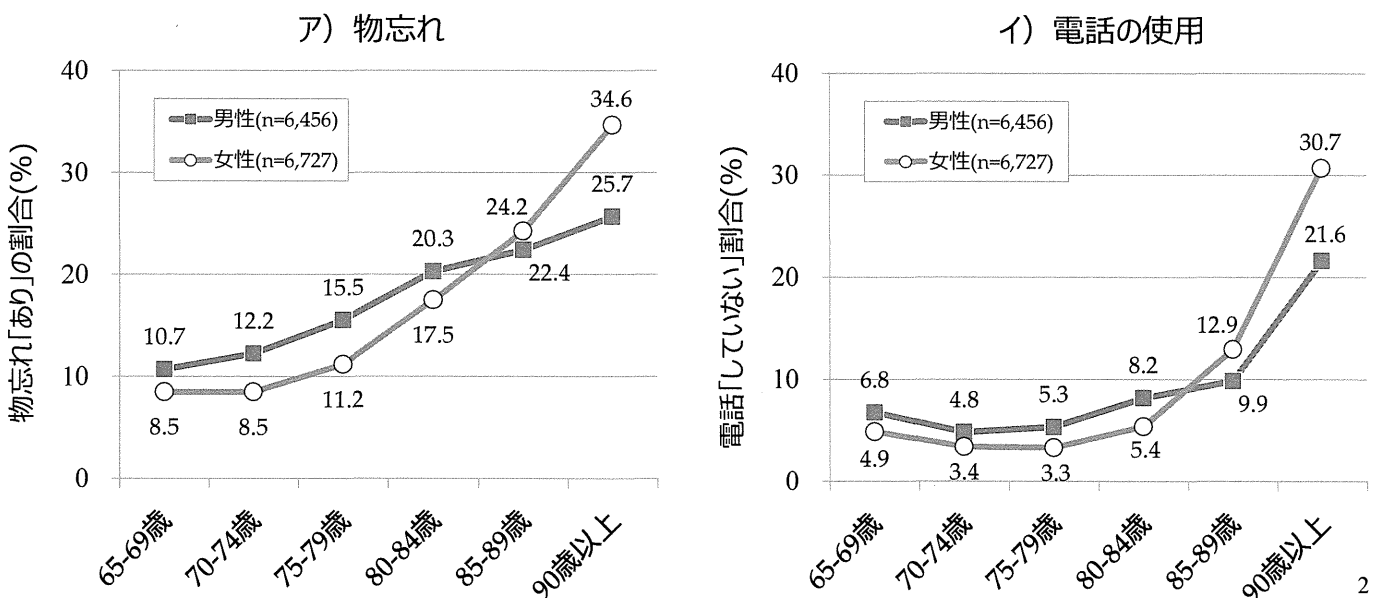
### 【結果1-1】 認知症関連3項目の回答状況（市全体）

○「周りの人から物忘れがあると言われますか？」に対し“はい”と回答した割合は、65歳以上男性(n=6,456)の14.3%、65歳以上女性(n=6,727)の11.8%であった。

○「電話をかけていますか？」に対し“いいえ”と回答した割合は、65歳以上男性の6.5%、65歳以上女性の5.2%であった。

○2質問とも、85歳から女性のネガティブ回答率が急増し、男性を上回っていた。

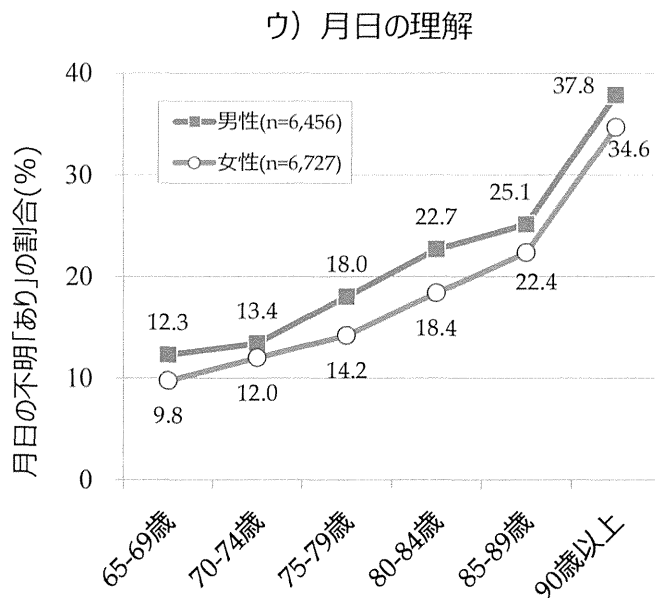
図1-1. 性別年齢階級別にみた認知症関連3項目のネガティブ回答率



## 【結果1-2】 認知症関連3項目の回答状況（市全体）

- 「今日が何月何日かわからない時がありますか？」に対し“はい”と回答した割合は、65歳以上男性の16.2%、65歳以上女性の13.7%であった。
- 全ての年齢階級において、男性の方がネガティブ回答率が高かった。

図1-1. 性別年齢階級別にみた認知症関連3項目のネガティブ回答率（続き）

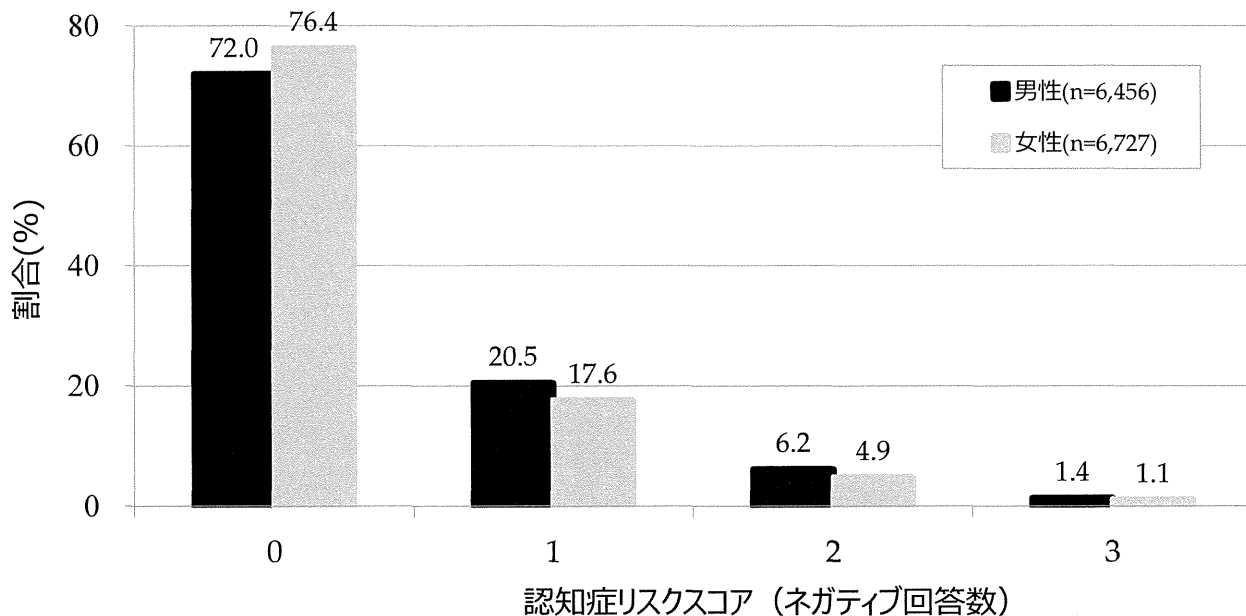


3

## 【結果2】 認知症リスクスコアの分布状況（市全体）

- 1項目以上に該当した者の割合は、「男性」28.0%、「女性」23.6%、2項目以上に該当した者の割合は、「男性」7.5%、「女性」6.0%であった。

図2-1. 性別にみた認知症リスクスコアの点数分布

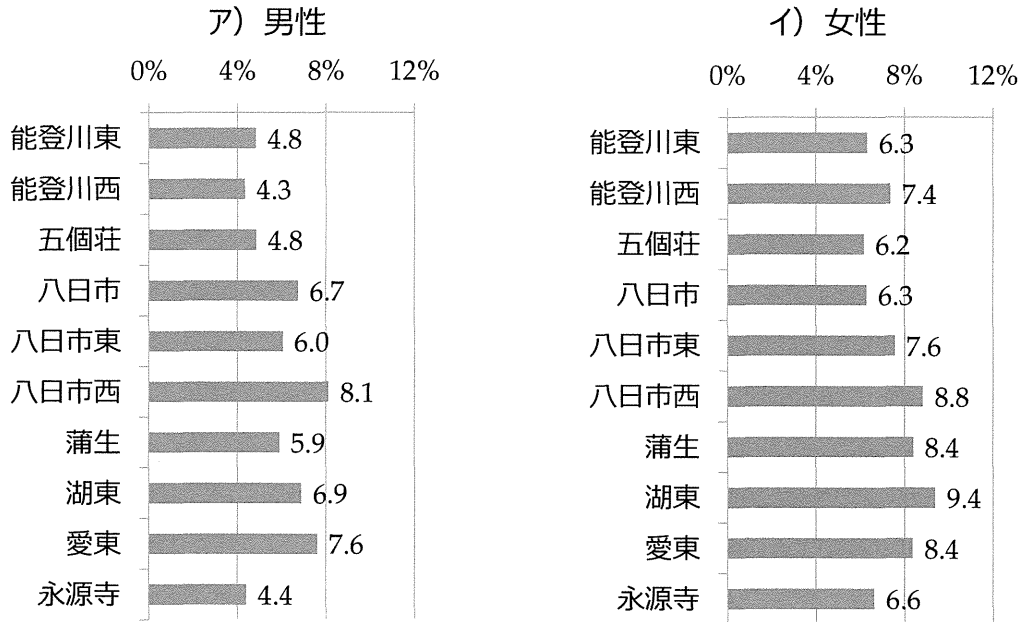


4

### 【結果3】 性別圏域別にみた認知症リスクスコア2点以上の割合

○65歳以上男性のうち、“認知症リスクスコア2点以上”の割合を圏域別にみると、「八日市西」8.1%、「愛東」7.6%の順で、「能登川西」が4.3%と最も低かった。  
 ○65歳以上女性では「湖東」9.4%、「八日市西」8.8%の順で、「五個荘」が6.2%と最も低かった。

図3. 性別圏域別にみた認知症リスクスコア2点以上の割合



## 二次予防対象者の現状

### (項目)

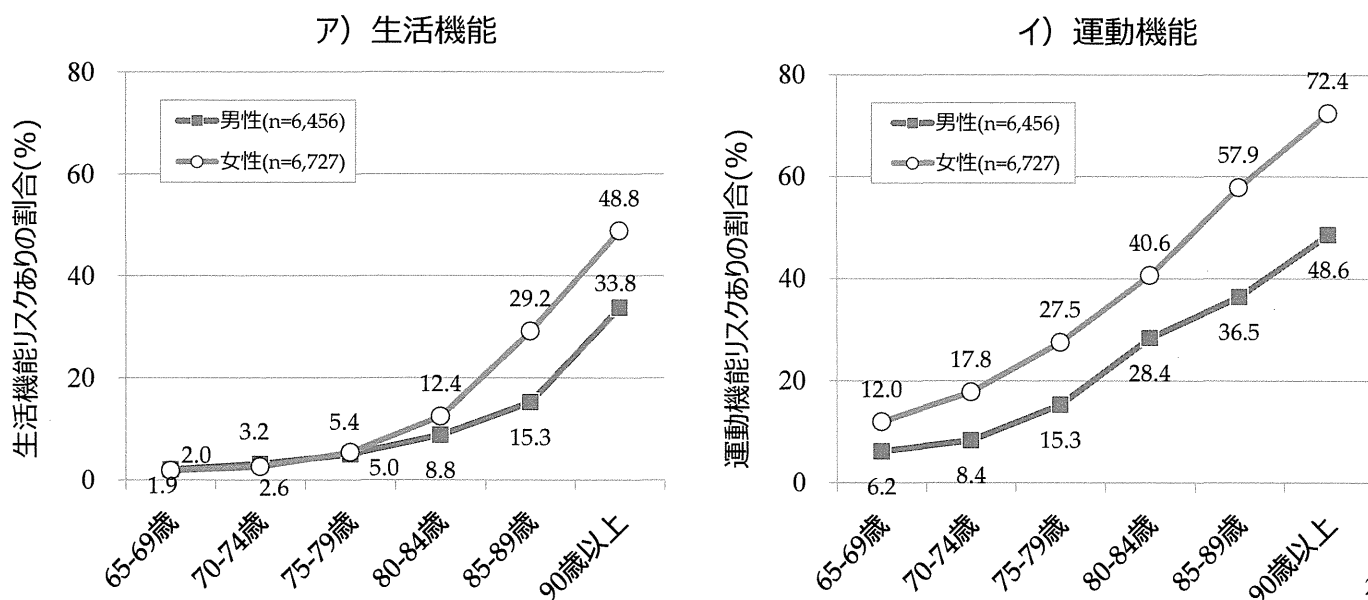
1. 領域別にみた二次予防該当状況（性別年齢階級別）
2. 二次予防該当状況（性別年齢階級別、市全体）
3. 二次予防該当状況（性別、圏域別）

1

### 【結果1-1】 二次予防対象者の該当状況（領域別）

- 生活機能リスク該当者の割合は、65歳以上男性(n=6,456)の5.0%、65歳以上女性(n=6,727)の6.8%であった。
- 運動機能リスク該当者の割合は、65歳以上男性の13.9%、65歳以上女性の24.8%であった。
- 生活機能は75歳以上、運動機能は全年齢階級で女性のリスク該当率が男性を上回っていた。

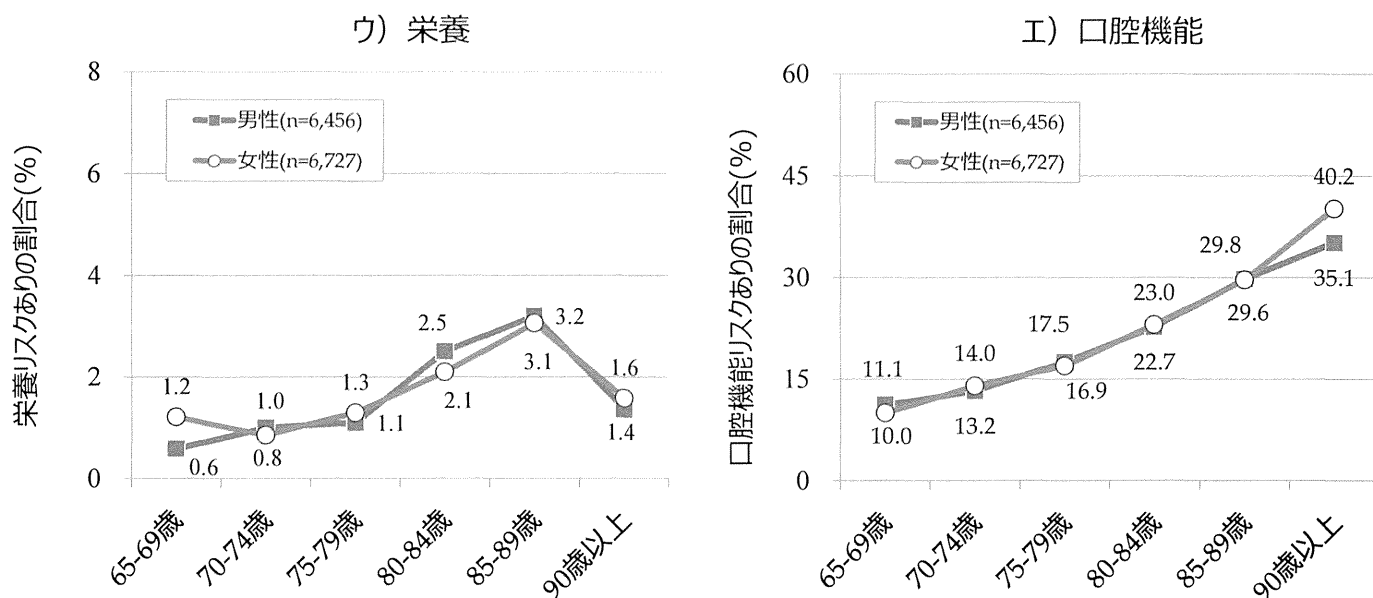
図1. 性別年齢階級別にみた領域別リスク該当者の割合



## 【結果1-2】 二次予防対象者の該当状況（領域別）

- 栄養リスク該当者の割合は、65歳以上男性の1.2%、65歳以上女性の1.4%であった。
- 口腔機能リスク該当者の割合は、65歳以上男性の15.9%、65歳以上女性の16.1%であった。
- 栄養、口腔機能リスク該当率には、男女間の差は少なかった。

図1. 性別年齢階級別にみた領域別リスク該当者の割合（続き）

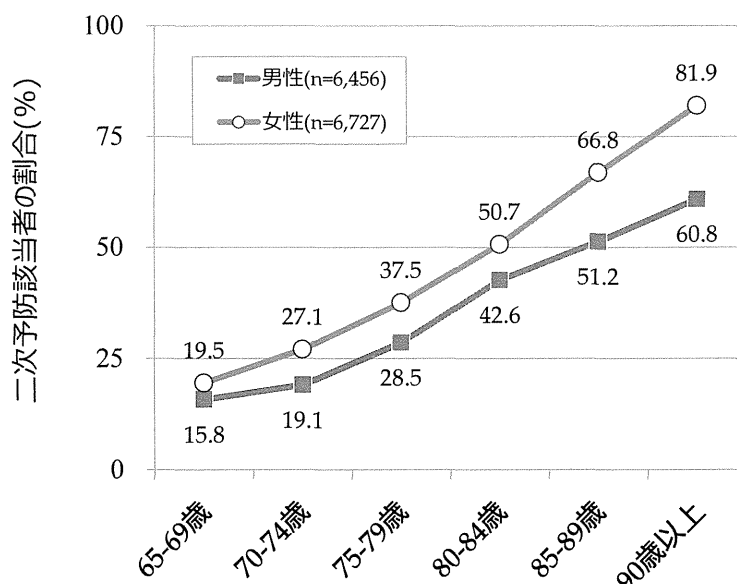


3

## 【結果1-3】 二次予防該当者の該当状況（市全体）

- 二次予防該当者の割合は、65歳以上男性の25.5%、65歳以上女性の33.7%であった。
- 二次予防該当者の割合は、全年齢階級において女性が上回っていた。

図2. 性別年齢階級別にみた二次予防該当者の割合



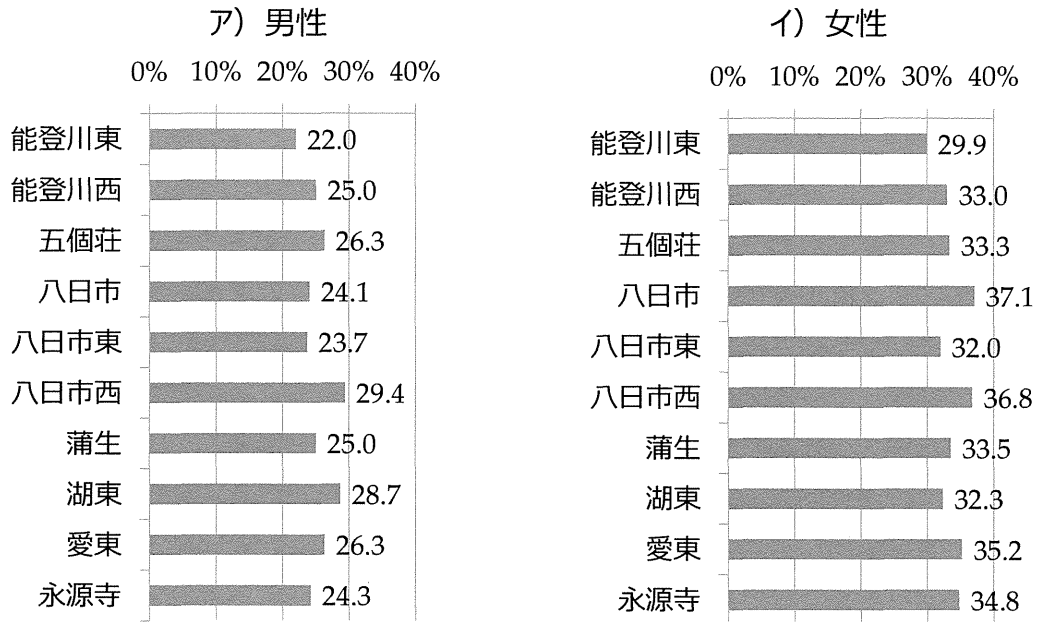
4

## 【結果1-4】 二次予防対象者の該当状況（圏域別）

○65歳以上男性のうち二次予防該当者の割合を圏域別にみると、「八日市西」29.4%、「湖東」28.7%の順で、「能登川東」が22.0%と最も低かった。

○65歳以上女性では「八日市」37.1%、「八日市西」36.8%の順で、「能登川東」が29.9%と最も低かった。

図3. 性別圏域別にみた二次予防該当者の割合



## 転倒／閉じこもりの現状

(項目)

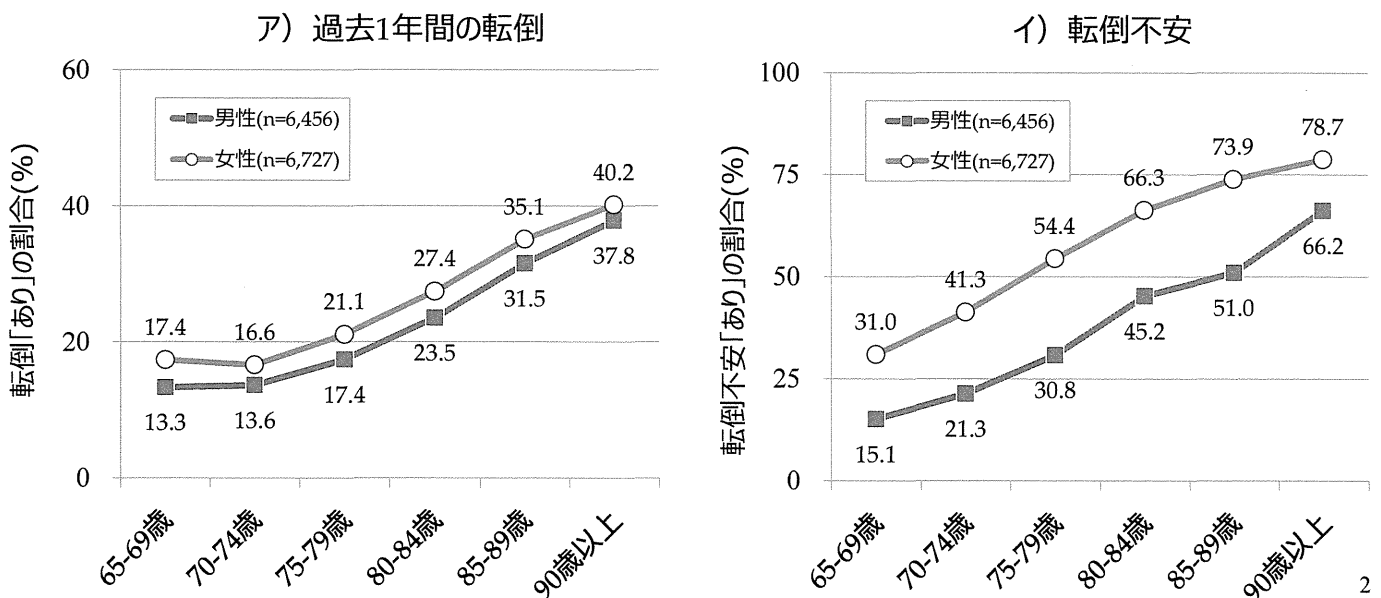
1. 転倒関連2項目の回答状況
2. 圏域別にみた転倒ありの割合
3. 閉じこもり関連2項目の回答状況
4. 圏域別にみた閉じこもり者の割合

1

### 【結果1-1】 転倒関連2項目の回答状況（市全体）

- 「過去1年間に転んだことがありますか？」に対し「はい」と回答した割合は、65歳以上男性(n=6,456)の17.0%、65歳以上女性(n=6,727)の20.8%であった。
- 「転倒に対する不安は大きいですか？」に対し「はい」と回答した割合は、65歳以上男性の26.7%、65歳以上女性の47.1%であった。
- 2質問とも、全ての年齢階級で女性のネガティブ回答率が男性を上回っていた。

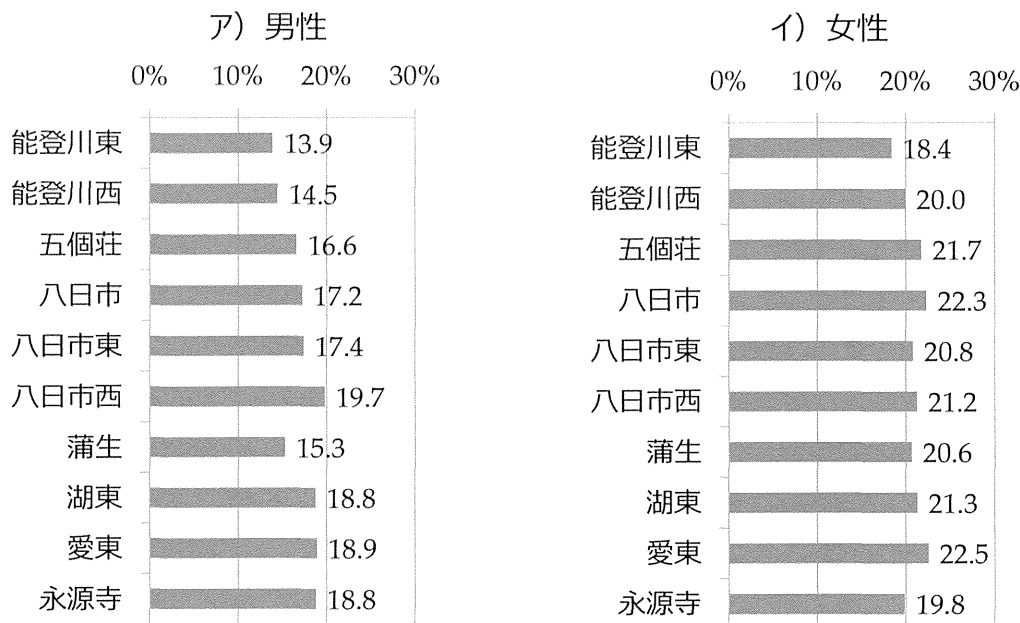
図1. 性別年齢階級別にみた転倒関連2項目のネガティブ回答率



## 【結果1-2】性別圏域別にみた転倒ありの割合

○65歳以上男性のうち、「過去1年間の転倒あり」の割合を圏域別にみると、「八日市西」19.7%、「愛東」18.9%の順で、「能登川東」が13.9%と最も低かった。  
 ○65歳以上女性では「愛東」22.5%、「八日市」22.3%の順で、「能登川東」が18.4%と最も低かった。

図2. 性別圏域別にみた「転倒あり」の割合

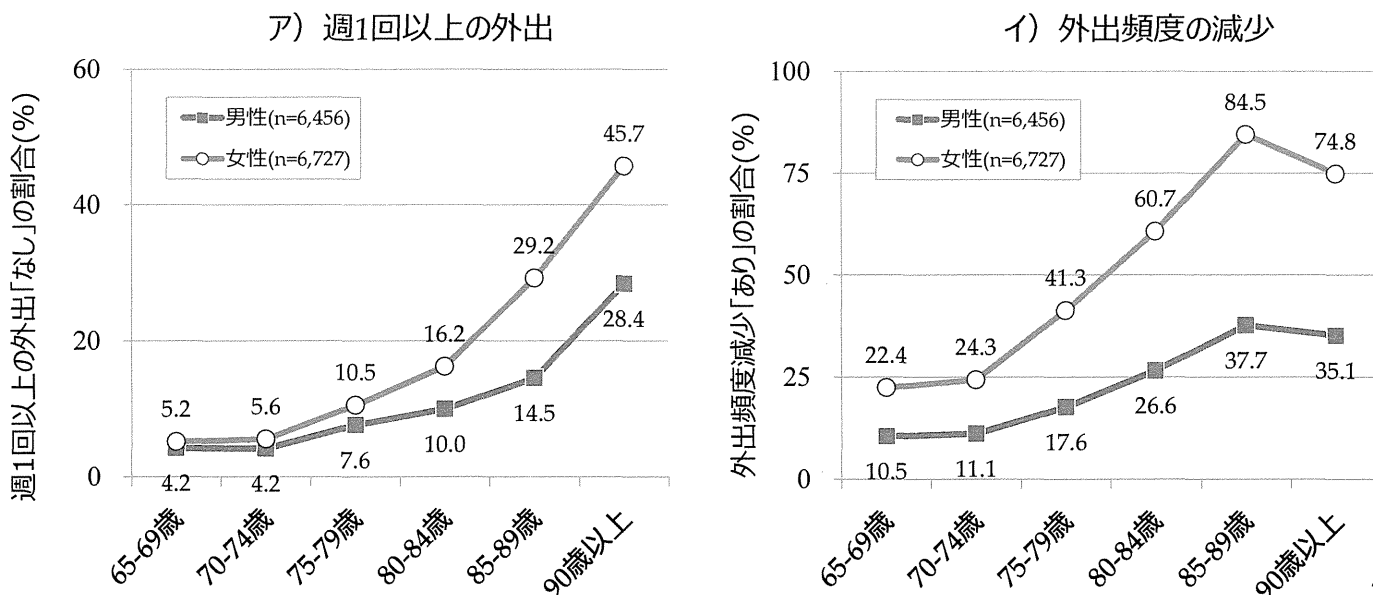


3

## 【結果2-1】閉じこもり関連2項目の回答状況（市全体）

○「週1回以上外出していますか？」に対し「いいえ」と回答した割合は、65歳以上男性の6.6%、65歳以上女性の10.2%であった。  
 ○「外出回数が昨年に比べ減っていますか？」に対し「はい」と回答した割合は、65歳以上男性の16.2%、65歳以上女性の36.9%であった。  
 ○2質問とも、全ての年齢階級で女性のネガティブ回答率が男性を上回っていた。

図3. 性別年齢階級別にみた閉じこもり関連2項目のネガティブ回答率



68

4

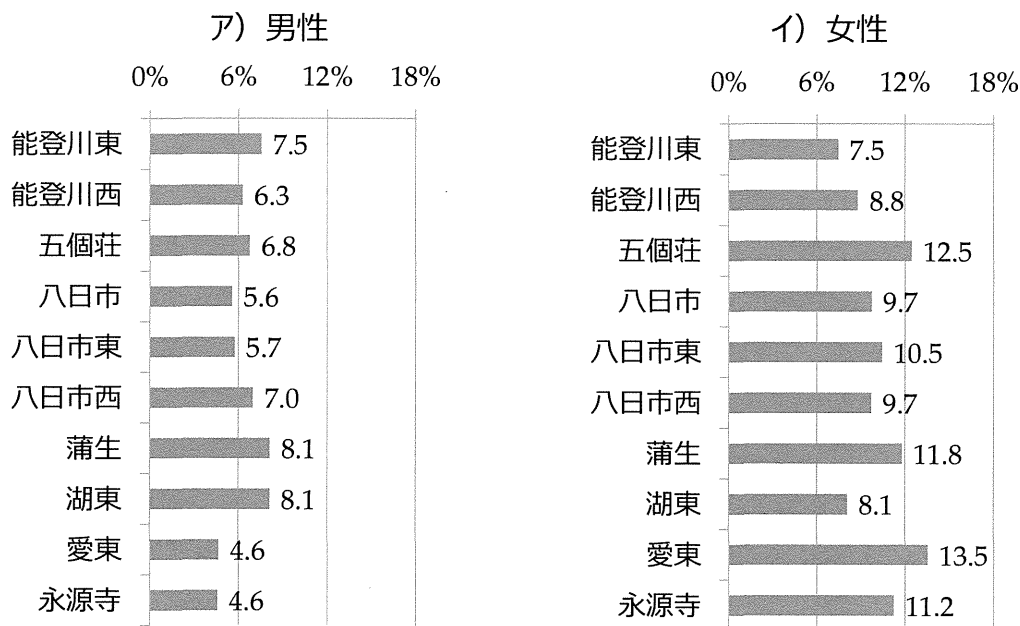


## 【結果2-2】 性別圏域別にみた閉じこもり者の割合

○65歳以上男性のうち、“閉じこもり者”の割合を圏域別にみると、「蒲生」「湖東」8.1%、「能登川東」7.5%の順で、「愛東」「永源寺」が4.6%と最も低かった。

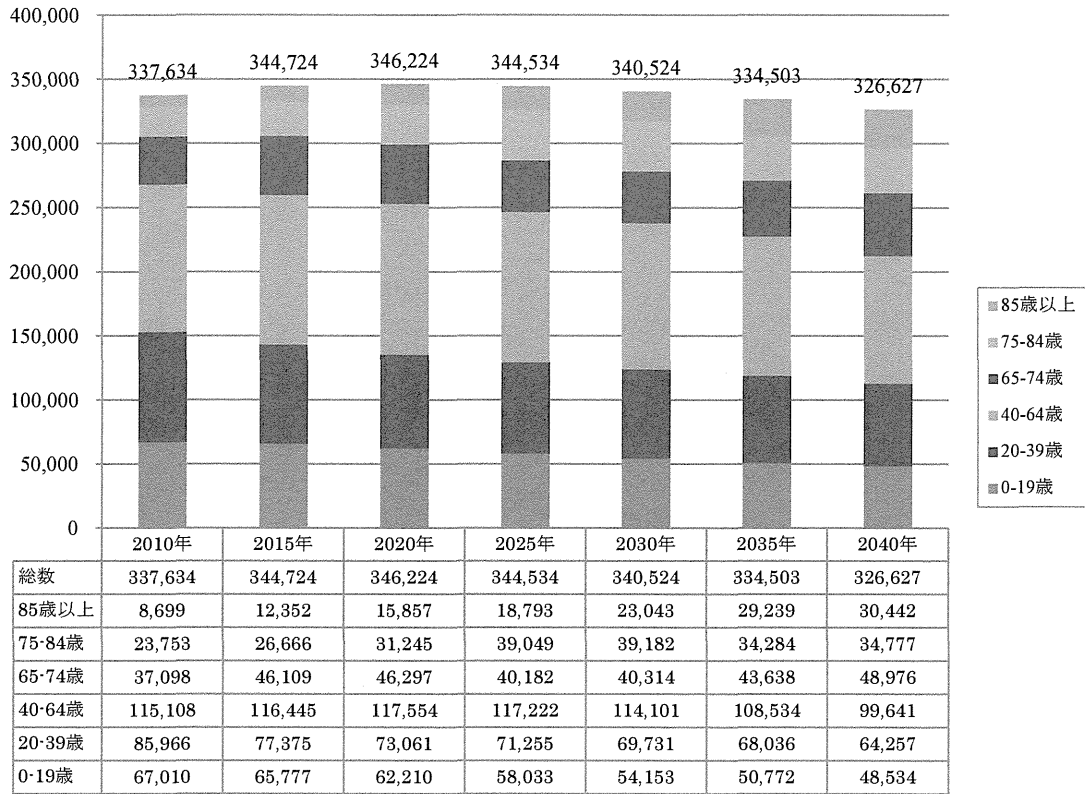
○65歳以上女性では「愛東」13.5%、「五個荘」12.5%の順で、「能登川東」が7.5%と最も低かった。

図4. 性別圏域別にみた閉じこもり者の割合

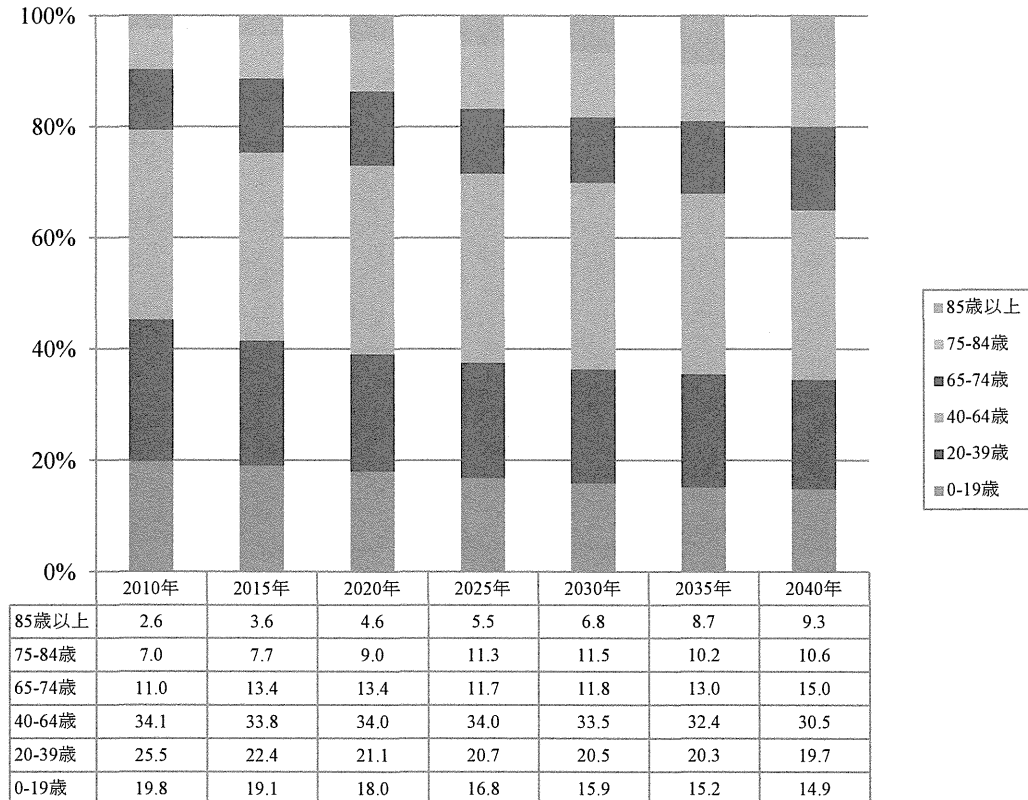


(資料8)

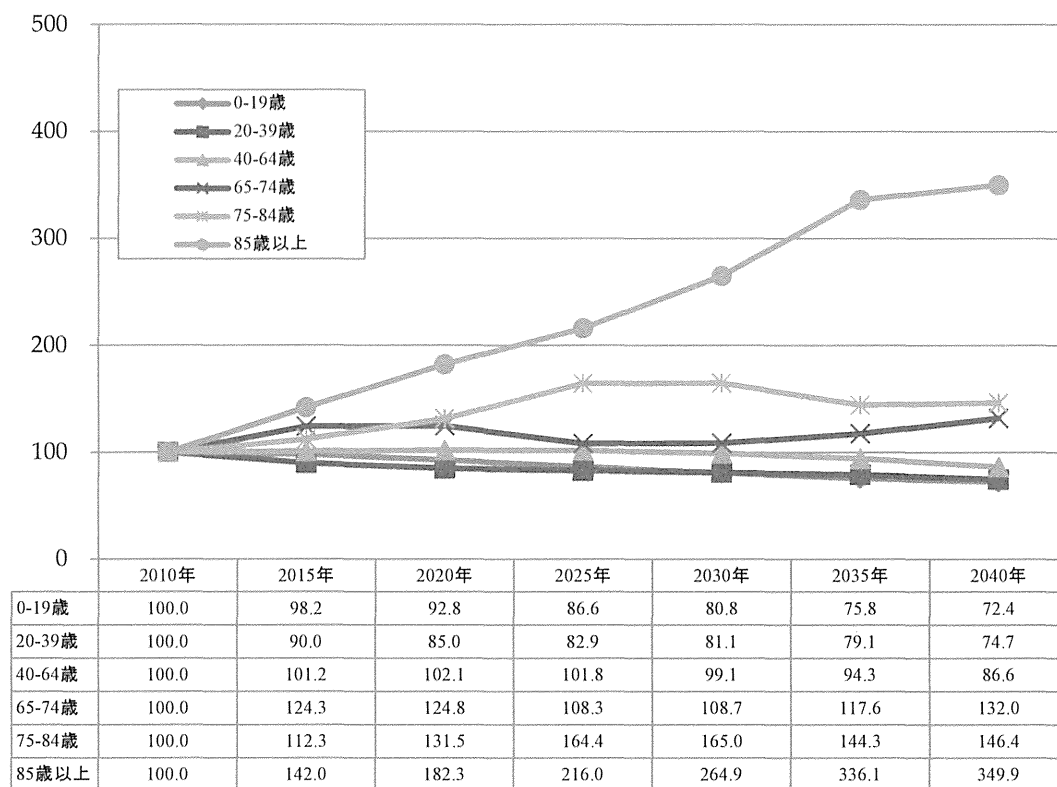
① 年齢階級別の将来推計人口



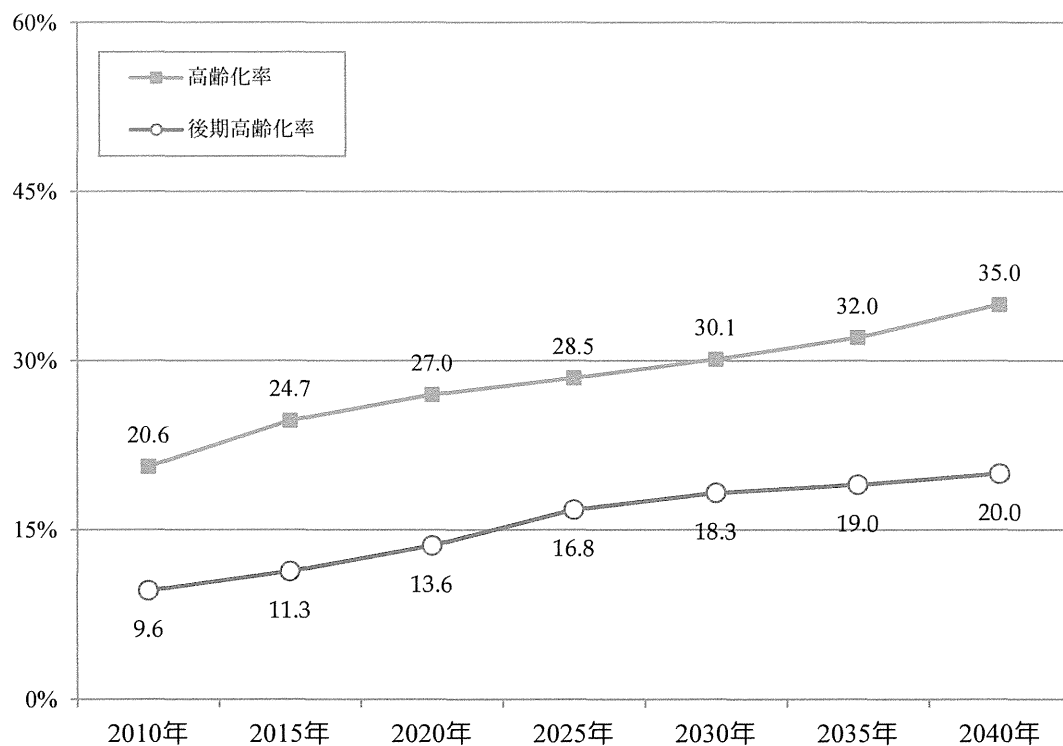
② 年齢階級別の将来推計人口の構成割合



③ 年齢階級別人口の伸びの状況（2010年を100とした場合）



④ 高齢化率／後期高齢化率の推移

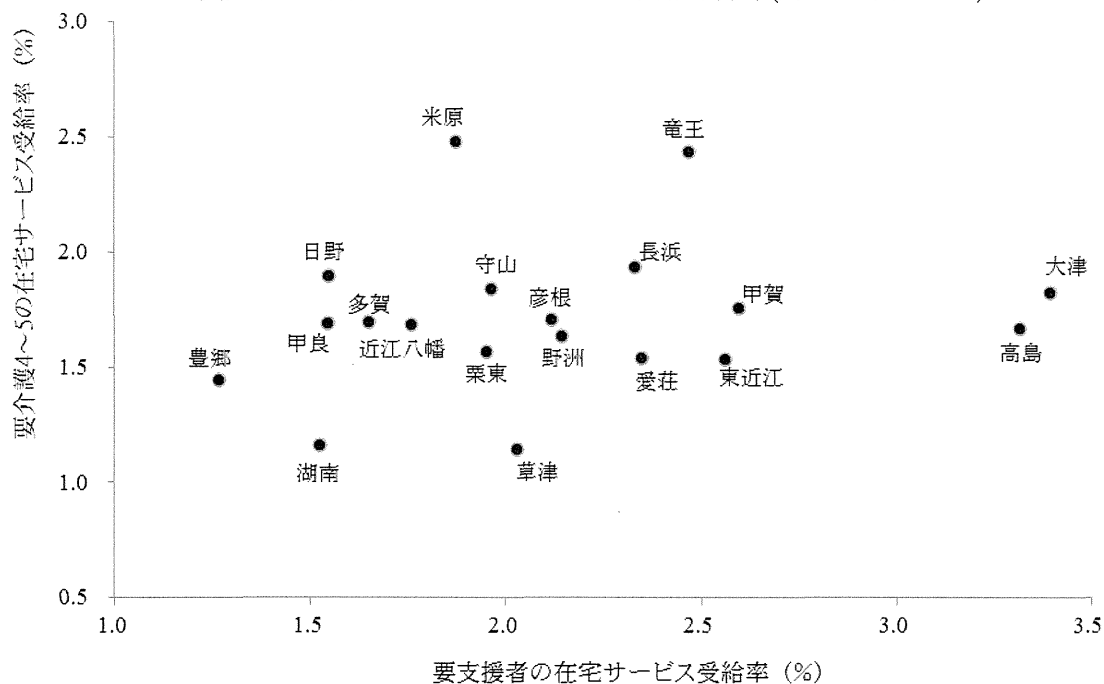


(資料 10) 「65 歳以上在宅サービス受給率」の市町間比較 (平成 25 年 10 月サービス分)

	65 歳以上在宅サービス受給率 (%)				65 歳以上在宅サービス受給率順位			
	総数 (%)	要支援 1~2	要介護 1~3	要介護 4~5	総数	要支援 1~2	要介護 1~3	要介護 4~5
大津市	12.4	3.4	7.2	1.8	1	1	7	6
彦根市	10.8	2.1	6.9	1.7	10	9	9	8
長浜市	11.5	2.3	7.2	1.9	4	7	6	3
近江八幡市	10.2	1.8	6.7	1.7	13	14	11	11
草津市	9.3	2.0	6.1	1.1	18	10	14	19
守山市	10.6	2.0	6.8	1.8	11	11	10	5
甲賀市	10.0	2.6	5.6	1.8	16	3	19	7
野洲市	10.2	2.1	6.4	1.6	12	8	13	13
湖南市	8.5	1.5	5.8	1.2	19	18	18	18
高島市	11.0	3.3	6.0	1.7	8	2	15	12
東近江市	10.0	2.6	5.9	1.5	15	4	16	16
米原市	12.4	1.9	8.0	2.5	2	13	4	1
栗東市	10.1	2.0	6.6	1.6	14	12	12	14
日野町	9.3	1.5	5.9	1.9	17	16	17	4
竜王町	12.3	2.5	7.4	2.4	3	5	5	2
愛荘町	11.0	2.4	7.1	1.5	9	6	8	15
豊郷町	11.4	1.3	8.7	1.4	7	19	1	17
甲良町	11.5	1.5	8.2	1.7	6	17	2	10
多賀町	11.5	1.7	8.2	1.7	5	15	3	9
単純平均	10.7	2.1	6.9	1.7				

※65 歳以上在宅サービス受給率とは、65 歳以上人口に対する 65 歳以上の在宅サービス受給者数の割合のこと。

要支援者と要介護 4・5 の在宅サービス受給率分布(対 65 歳以上人口)

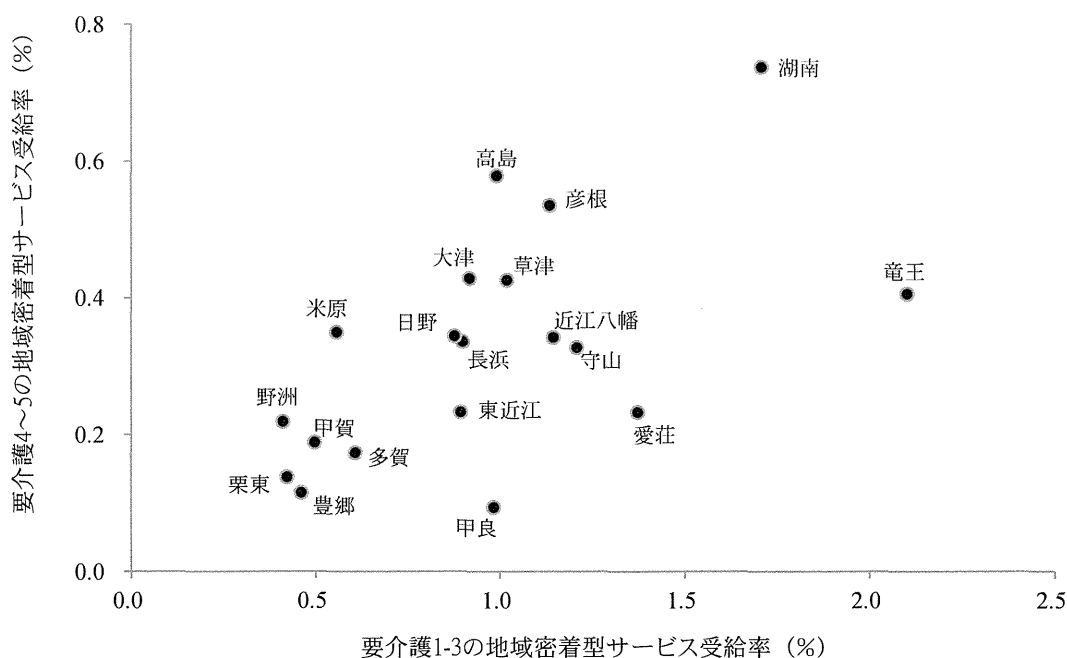


図表. 「65歳以上地域密着型サービス受給率」の市町間比較（平成25年10月サービス分）

地域密着型	地域密着型サービス受給率（％）				地域密着型サービス受給率順位			
	総数（％）	要支援 1～2	要介護 1～3	要介護 4～5	総数	要支援 1～2	要介護 1～3	要介護 4～5
大津市	1.36	0.01	0.92	0.43	9	10	10	4
彦根市	1.70	0.02	1.14	0.54	3	5	6	3
長浜市	1.26	0.02	0.90	0.34	10	7	11	10
近江八幡市	1.51	0.02	1.15	0.34	7	8	5	9
草津市	1.47	0.03	1.02	0.43	8	4	7	5
守山市	1.55	0.01	1.21	0.33	6	9	4	11
甲賀市	0.69	0.00	0.50	0.19	16	12	16	15
野洲市	0.63	0.00	0.41	0.22	17	12	19	14
湖南市	2.48	0.03	1.71	0.74	2	3	2	1
高島市	1.62	0.05	0.99	0.58	5	1	8	2
東近江市	1.17	0.04	0.89	0.23	12	2	12	12
米原市	0.92	0.01	0.56	0.35	14	11	15	7
栗東市	0.56	0.00	0.42	0.14	19	12	18	17
日野町	1.22	0.00	0.88	0.34	11	12	13	8
竜王町	2.51	0.00	2.10	0.41	1	12	1	6
愛荘町	1.63	0.02	1.37	0.23	4	6	3	13
豊郷町	0.58	0.00	0.46	0.12	18	12	17	18
甲良町	1.08	0.00	0.98	0.09	13	12	9	19
多賀町	0.78	0.00	0.61	0.17	15	12	14	16
単純平均	1.30	0.01	0.96	0.33				

※65歳以上地域密着型サービス受給率とは、65歳以上人口に対する65歳以上の地域密着型サービス受給者数の割合のこと。

図表. 要介護1-3と要介護4-5の地域密着型サービス受給率分布(対65歳以上人口)

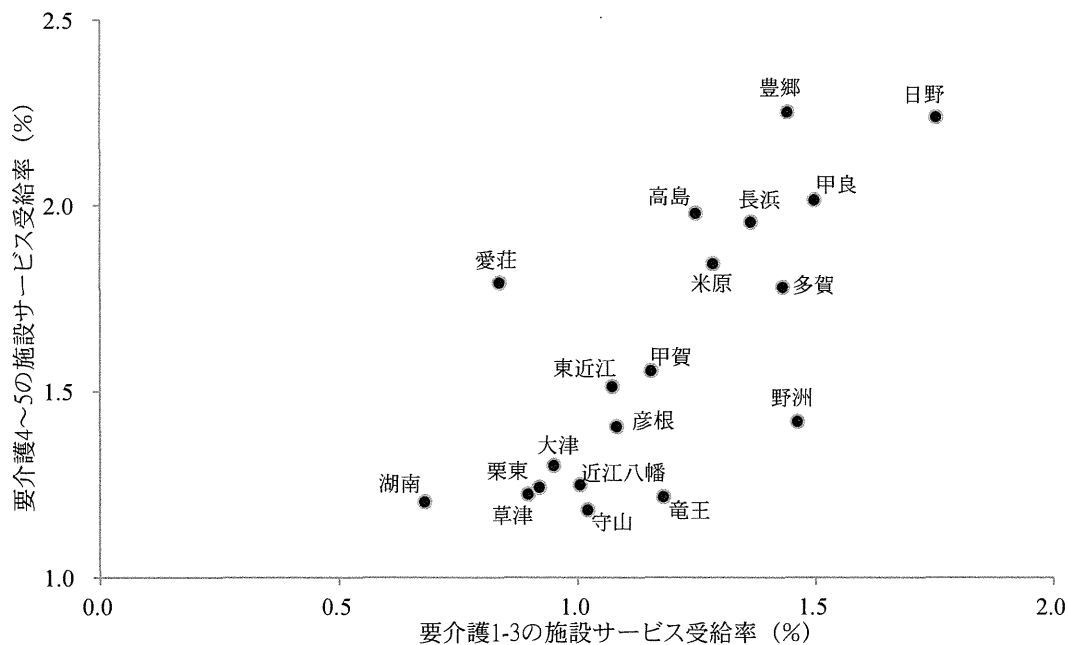


図表. 「65歳以上施設サービス受給率」の市町間比較（平成25年10月サービス分）

地域密着型	施設サービス受給率(%)				施設サービス受給率順位			
	総数(%)	要支援 1~2	要介護 1~3	要介護 4~5	総数	要支援 1~2	要介護 1~3	要介護 4~5
大津市	2.25	0.00	0.95	1.30	15	-	15	13
彦根市	2.49	0.00	1.08	1.41	12	-	11	12
長浜市	3.32	0.00	1.37	1.96	4	-	6	5
近江八幡市	2.26	0.00	1.01	1.25	14	-	14	14
草津市	2.12	0.00	0.90	1.22	18	-	17	16
守山市	2.20	0.00	1.02	1.18	16	-	13	19
甲賀市	2.71	0.00	1.16	1.56	9	-	10	9
野洲市	2.88	0.00	1.46	1.42	8	-	3	11
湖南市	1.88	0.00	0.68	1.20	19	-	19	18
高島市	3.23	0.00	1.25	1.98	5	-	8	4
東近江市	2.59	0.00	1.07	1.51	11	-	12	10
米原市	3.13	0.00	1.29	1.84	7	-	7	6
栗東市	2.16	0.00	0.92	1.24	17	-	16	15
日野町	4.00	0.00	1.76	2.24	1	-	1	2
竜王町	2.40	0.00	1.18	1.22	13	-	9	17
愛荘町	2.63	0.00	0.84	1.79	10	-	18	7
豊郷町	3.70	0.00	1.44	2.25	2	-	4	1
甲良町	3.51	0.00	1.50	2.01	3	-	2	3
多賀町	3.21	0.00	1.43	1.78	6	-	5	8
単純平均	2.77	0.00	1.17	1.60				

※65歳以上施設サービス受給率とは、65歳以上人口に対する65歳以上の施設サービス受給者数の割合のこと。

図表. 要介護1-3と要介護4-5の施設サービス受給率分布(対65歳以上人口)

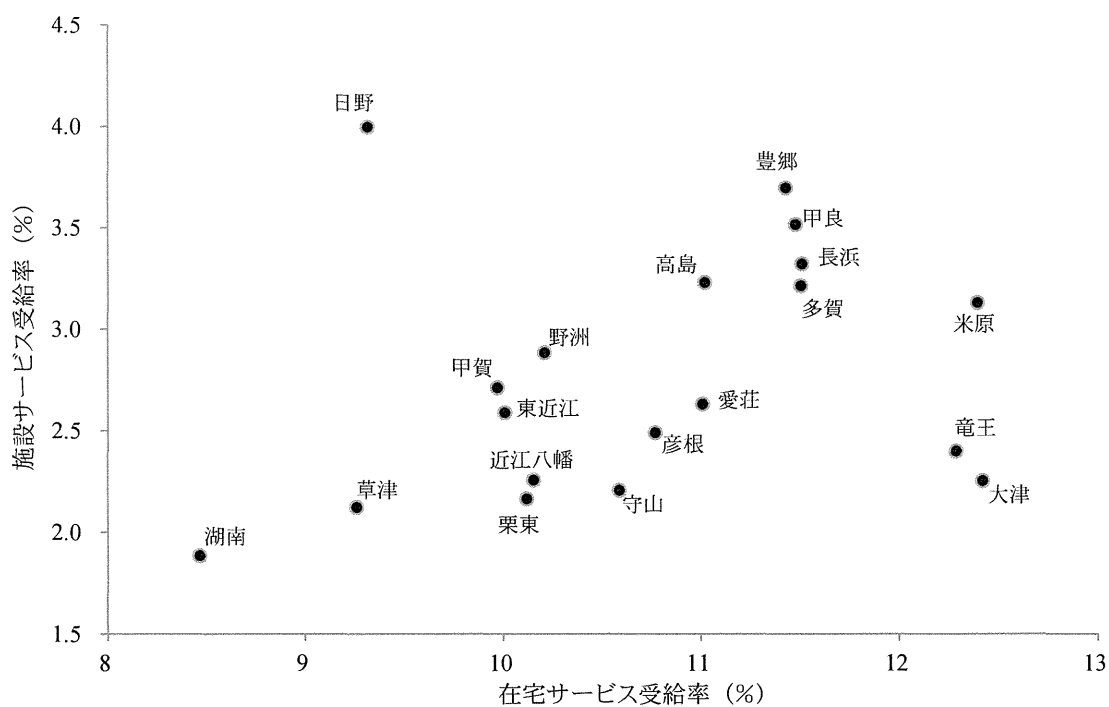


図表. 「65歳以上在宅／施設サービス受給率」の市町間比較（平成25年10月サービス分）

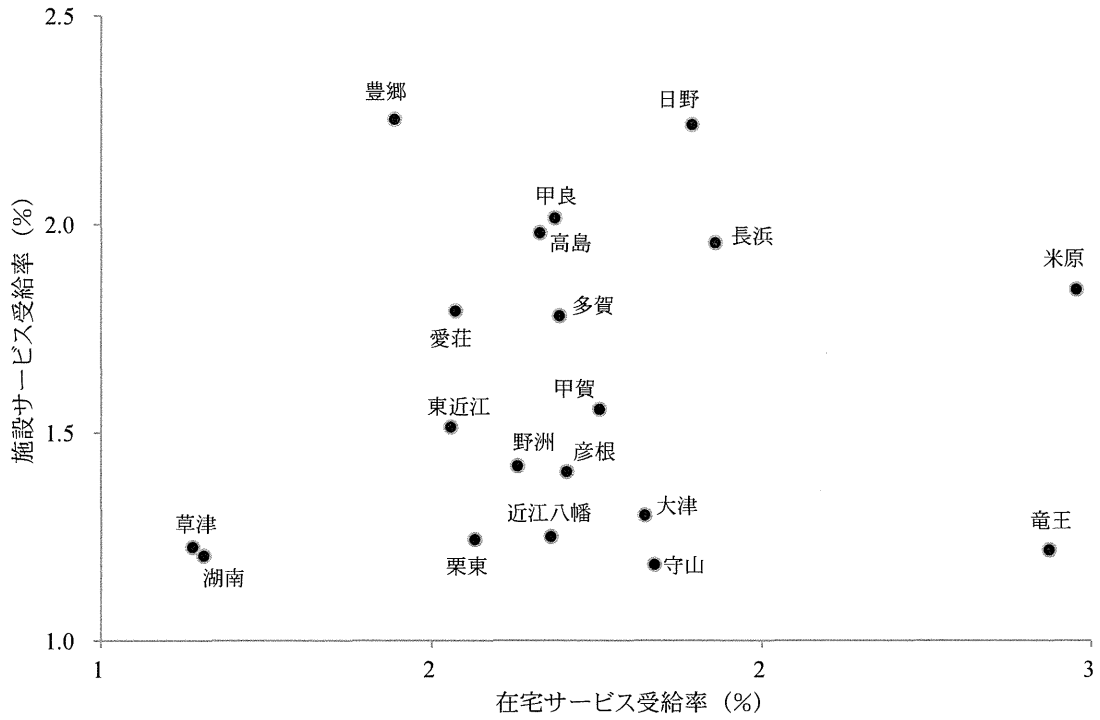
地域密着型	在宅サービス受給率 (%)				施設サービス受給率 (%)			
	総数 (%)	要支援 1~2	要介護 1~3	要介護 4~5	総数 (%)	要支援 1~2	要介護 1~3	要介護 4~5
大津市	12.4	3.4	7.2	1.8	2.3	0.0	1.0	1.3
彦根市	10.8	2.1	6.9	1.7	2.5	0.0	1.1	1.4
長浜市	11.5	2.3	7.2	1.9	3.3	0.0	1.4	2.0
近江八幡市	10.2	1.8	6.7	1.7	2.3	0.0	1.0	1.2
草津市	9.3	2.0	6.1	1.1	2.1	0.0	0.9	1.2
守山市	10.6	2.0	6.8	1.8	2.2	0.0	1.0	1.2
甲賀市	10.0	2.6	5.6	1.8	2.7	0.0	1.2	1.6
野洲市	10.2	2.1	6.4	1.6	2.9	0.0	1.5	1.4
湖南市	8.5	1.5	5.8	1.2	1.9	0.0	0.7	1.2
高島市	11.0	3.3	6.0	1.7	3.2	0.0	1.2	2.0
東近江市	10.0	2.6	5.9	1.5	2.6	0.0	1.1	1.5
米原市	12.4	1.9	8.0	2.5	3.1	0.0	1.3	1.8
栗東市	10.1	2.0	6.6	1.6	2.2	0.0	0.9	1.2
日野町	9.3	1.5	5.9	1.9	4.0	0.0	1.8	2.2
竜王町	12.3	2.5	7.4	2.4	2.4	0.0	1.2	1.2
愛荘町	11.0	2.4	7.1	1.5	2.6	0.0	0.8	1.8
豊郷町	11.4	1.3	8.7	1.4	3.7	0.0	1.4	2.3
甲良町	11.5	1.5	8.2	1.7	3.5	0.0	1.5	2.0
多賀町	11.5	1.7	8.2	1.7	3.2	0.0	1.4	1.8
単純平均	10.7	2.1	6.9	1.7	2.8	0.0	1.2	1.6

※65歳以上施設サービス受給率とは、65歳以上人口に対する65歳以上の施設サービス受給者数の割合のこと。

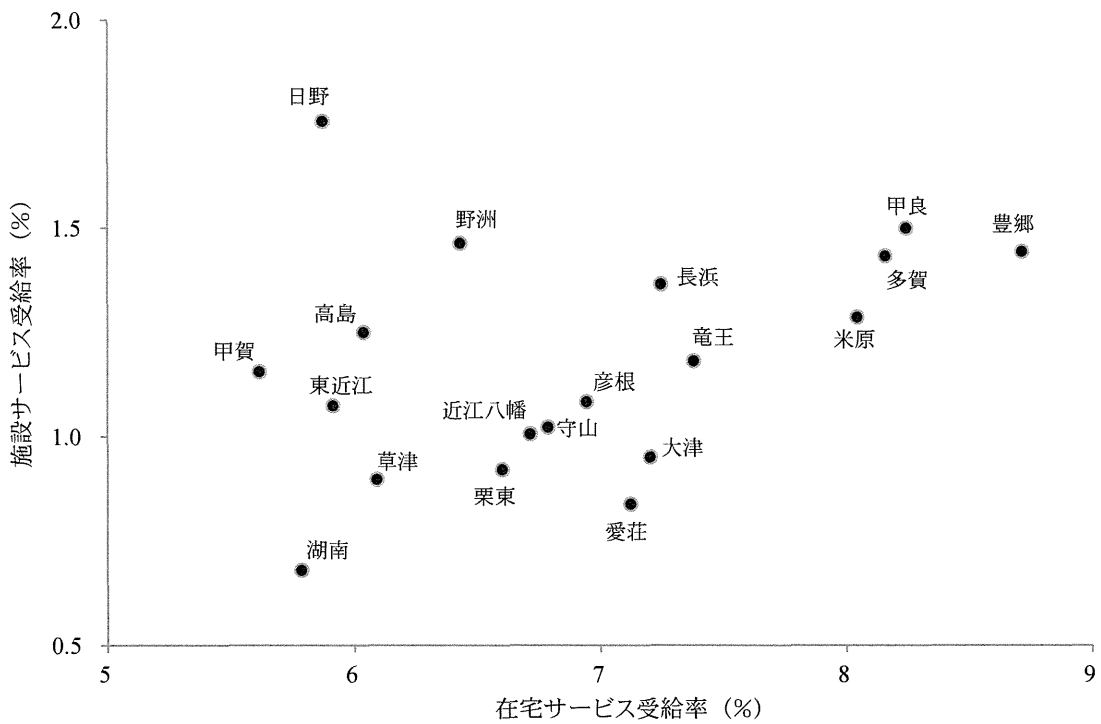
図表. 在宅／施設サービスの受給率分布(総数)



図表. 在宅／施設サービスの受給率分布(要介護1～3)



図表. 在宅／施設サービスの受給率分布(要介護4～5)





#### D. 考察および E. 結論

本年度、支援を通じてわかった事実から、①計画策定者は、例えば、ワークシートの全体像（構成、パーツの相互の関連性など）を理解せずに、細部から詰めに入るため、与えられた課題（ワークシートを埋める）をこなすといった仕事のパターンになっているのではないか、②与えられたことをこなすパターンになっているため、何を分析したいのかと聞かれても、抽象的な受け答えしか出来ないことが多いのではないかと、③市町村が有するデータ（例：認定・給付データ）などを使えば、認知症高齢者の有病率は計算できるが、自分らが有するデータと分析したいことの間が思考としてつながっていないのではないかと考えられた。

市町村職員が分析したいことを丁寧に専門家が引き出し、その具体化の方法（どこからそのデータをとってくるか、どんな分析をすればよいか）を助言するといった伴走型支援が、市町村職員の考える力をつけるためには有効な方法と考えた。

#### F. 研究発表

1. 論文発表：なし
2. 学会発表：なし

#### G. 知的所有権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得：なし
2. 実用新案登録：なし
3. その他：なし

## (資料3)

### 策定委員会の運営支援を通じた支援ノウハウの獲得 —大阪府富田林市での取り組み—

業務主任者 川越雅弘（国立社会保障・人口問題研究所 部長）

#### A. 研究目的

策定委員会の運営支援を通じて、計画策定者の分析に対するニーズ、委員会運営に対するニーズを把握し、支援のノウハウを獲得することを目的とする。

#### B. 方法

策定委員会の前に、市担当者として、①当日の議事次第について、②会議で準備する資料の内容と資料準備担当者に関する打合せを実施した。

#### C. 結果

##### 1) 第1回目（2014年6月20日）

会長、副会長を選出後、次頁の議事次第に従って、委員会を遂行した。

##### (1) 市が準備した資料の内容

事前打合せを経て、最終的に市が準備した資料は、以下の通り。

資料1：2025年を見据えた介護保険事業計画の策定

資料2：第6期事業計画策定スケジュール

資料3：高齢者の現状と今後

資料4：個別テーマごとにみた現状と課題

資料4-1：在宅医療の現状

資料4-2：認知症の現状

資料4-3：二次予防と要支援者の生活支援サービスに対するニーズ

資料4-4：住宅に対するニーズの現状

##### (2) 資料準備に関する役割分担の決定

事前打合せの中で、どの資料を誰が準備するかの担当を決定した。具体的な担当割り方を81～82頁に示す。

## 第1回 富田林市高齢者保健福祉計画等推進委員会

平成26年6月20日(金)

13:30～15:30

富田林市消防署4階視聴覚室

1. 副会長選出
2. 第6回介護保険事業計画の位置づけと方向性・・・資料1
3. 第6期事業計画策定スケジュール・・・資料2
4. 高齢者の現状と今後・・・資料3
5. 個別テーマごとに見た現状と課題・・・資料4
  - ① 在宅医療の現状
  - ② 認知症の現状
  - ③ 二次予防と要支援者の生活支援サービスに対するニーズ
  - ④ 住宅に対するニーズの現状
6. その他

(資料)

1. 2025年を見据えた介護保険事業計画の策定
2. 第6期事業計画策定スケジュール
3. 高齢者の現状と今後
4. 個別テーマごとにみた現状と課題

H26年度 第1回高齢者保健福祉計画等推進委員会の議題と提示資料及びデータ作成者一覧表

1.第6期介護保険事業計画の位置づけと方向性

テーマ	必要データ等	アンケートの種類等	アンケートの項目	担当
・第6期介護保険事業計画の位置づけと方向性	第6期介護保険事業計画の位置づけと方向性			市担当者

2.第6期事業計画策定スケジュール

テーマ	必要データ等	アンケートの種類等	アンケートの項目	担当
・第6期事業計画策定スケジュール	第6期事業計画策定スケジュール			市担当者

3.高齢者の現状と今後

テーマ	必要データ等	アンケートの種類等	アンケートの項目	担当
①年齢階級別に人口の将来推計	人口推計表			市担当者
②高齢者の住宅と世帯	住宅の種類、世帯構成、同居	③高齢者の住まいと生活支援のあり方に関するアンケート調査	I 問4・問5・問6 各々の単純集計	川越
			I 問3と問5 クロス集計	
			I 問4と問5 クロス集計	
		⑤高齢者の生活と住まいに関するアンケート調査	属性 Q4・Q5・Q6 各々の単純集計	業者
			属性 Q3とQ5 クロス集計	
			属性 Q4とQ5 クロス集計	
③要介護の性別年齢階級別出現率	要介護の性別年齢階級別出現率	本市認定・給付データ（3年分）		市担当者
④将来の要介護者の推計	将来の要介護者の推計			市担当者

4.個別テーマごとにみた現状と課題

(1) 二次予防と要支援者の生活支援サービスに対するニーズの現状

テーマ	必要データ等	アンケートの種類等	アンケートの項目	担当
①二次予防対象者の現状	二次予防対象者の数（地区ごと、性別ごと）	はつらつ度チェック票（H25）		市担当者
	閉じこもりの状況（地区ごと、性別ごと）			
②要支援者のサービス利用	要支援1、2の通所、訪問サービスの利用状況、月あたり回数	給付実績		市担当者
③日常生活の困りごとと参加意欲	日常生活の困りごと	③高齢者の住まいと生活支援のあり方に関するアンケート調査	Ⅲ 問1 単純集計	川越
	参加したい教室やプログラム	③高齢者の住まいと生活支援のあり方に関するアンケート調査	V 問5 単純集計	
	参加したい教室やプログラム（要介護度ごと）	⑤高齢者の生活と住まいに関するアンケート調査	問6 Q7と属性 Q9 クロス集計	業者